

香川高等専門学校		開講年度	平成28年度 (2016年度)		授業科目	数学概論Ⅲ	
科目基礎情報							
科目番号	0008		科目区分		一般 / 選択		
授業形態	授業		単位の種別と単位数		履修単位: 1		
開設学科	一般教育科 (託間)		対象学年		5		
開設期	前期		週時間数		2		
教科書/教材	教員作成プリントによる問題集, 今までに使用した教科書						
担当教員	南 貴之						
到達目標							
一変数および多変数の微分積分学, 線形代数学の復習を通じて学力の向上を図り, 編入学生の勉学を助けると共に大学へ編入学するのに十分な実力を養成する。							
ルーブリック							
		理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安	
評価項目1 ベクトル空間の定義を理解し, その応用ができる。		ベクトル空間の定義を理解し, その応用ができる。		ベクトル空間の定義を理解し, その応用がある程度できる。		ベクトル空間の定義を理解し, その応用ができない。	
評価項目2							
評価項目3							
学科の到達目標項目との関係							
学習・教育到達目標 d 学習成果 d1							
教育方法等							
概要		一変数および多変数の微分積分学, 線形代数学の復習を通じて学力の向上を図り, 編入学生の勉学を助けると共に大学へ編入学するのに十分な実力を養成する。					
授業の進め方・方法		前半は, これまでの授業では編入問題を解くには不十分な項目について講義を中心に問題演習を行う。後半は3年までの授業内容の復習・補完をし, 数学の学力の向上と定着を図る。 これにより, 本校への編入学生や大学へ編入学を希望する学生の指導に資する。					
注意点		時間数が少ないので, できる限り独力で多くの問題を解き, 添削を受けたり質問をしたりすることを期待する。					
授業計画							
		週	授業内容		週ごとの到達目標		
前期	1stQ	1週					
		2週					
		3週					
		4週					
		5週					
		6週					
		7週					
		8週					
	2ndQ	9週					
		10週					
		11週					
		12週					
		13週					
		14週					
		15週					
		16週					
モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標							
分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標			到達レベル	授業週
評価割合							
	試験	発表	相互評価	態度	ポートフォリオ	その他	合計
総合評価割合	90	0	0	0	10	0	100
基礎的能力	90	0	0	0	10	0	100
専門的能力	0	0	0	0	0	0	0
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0